

事業所名		支援プログラム（放課後等デイサービス）				作成日	7 年	1 月	1 日		
法人（事業所）理念		共に支え 共に生きる									
支援方針		お一人お一人の個性や発達に合わせ、集中力や体力が維持・向上するようなプログラムを設定しています。「自分でできること」「他人とコミュニケーションをとること」「よろこび」「たのしみ」がゆっくりと増えていくことを目標に支援していきます。今が未来につながるように…。									
営業時間		9 時	30 分	17 時	30 分	送迎実施の有無	あり	なし			
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・来所時の検温や連絡ノートなどから健康状態の把握を行います。 ・小さなサインを見逃さないようにし、心身の異変の早期発見に努めます。 ・手洗いやうがいの仕方を絵カードなどで提示し、正しい方法を身に付け感染予防を図るとともに習慣化できるように支援します。 ・登降所時の身辺処理（靴の用意や着脱、荷物の整理、提出物の管理など）を5本院に合わせた方法で実施し、習慣化できるように支援します。 ・適切なタイミングでトイレ誘導を行います。 ・一日の流れをスケジュールで提示し、見通しをもって行動できるように支援します。 ・スケジュールはご本人の理解できる形態で準備します。 ・イベントの説明などは視覚支援を用いるなどご本人の分かりやすい方法で伝え、不安なく過ごすことが出来るよう支援します。 ・生活の中での課題をご家族から聞き取ったりご本人の行動などから抽出し、個別支援として取り組みます。 ・医療的ケアが必要な場合は保護者および主治医と連携し、看護師が必要な対応を行います。 ・ご本人自身が通所することに対して目的意識が持てるよう支援します。 ・放課後の居場所となり、心身のパワーが発散できるような配慮することで健康に過ごせるようサポートしていきます。 ・主体性を引き出しながら能動的にアクションを起こせるタイミングを尊重した見守りと必要に応じた環境支援を取り入れます。 ・身辺自立や宿題等、ご本人に合わせた課題に取り組み、習慣化できるように支援します。									
	運動・感覚	・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動機能の観察を行い、必要に応じて個別支援として支援を行います。 ・正しい姿勢で椅子に座ったり身体を動かしたり出来るように支援します。 ・全身運動を通して「自ら」「楽しく」「達成感」を得られる機会を提供し、感覚が統合されるような経験が出来るよう支援します。 ・変形や拘縮を助長しないようストレッチを行なったり、適正な姿勢やポジショニングがとれるように支援します。 ・運動を通して静と動のメリハリをつけることで集中力が高まるような支援を行います。 ・遊びや活動を通して様々な感覚に刺激を与え、保有する感覚を十分に活用できるように支援します。 ・人とのコミュニケーションも含めた五感を刺激する活動を取り入れ、充実感や安心感が得られるような経験が出来るよう支援します。 ・手指の緻巧性を高めるような課題を提供します。 ・音楽療法を通し全身運動を行なったり心身のリラックスを図る支援を行ないます。 ・創作活動を通して道具を使ったり、手先を動かす機会を増やします。									
	認知・行動	・色や数字、物など様々な概念の獲得に向け、ご本人の特性や能力を観察し、見合った課題の提供を行います。 ・認知の偏りを把握し、適宜支援を行うことでこだわりや忌避感を軽減できるように支援します。 ・ご本人が認知、理解しやすいように環境を整え、ストレスなく過ごすことが出来るよう支援します。 ・毎日のレクリエーションや行事を通じて季節を感じたり興味の幅を広げたり出来るよう支援します。 ・ご本人の興味関心に沿って課題やレクリエーションの提案を行い、集中して取り組めるように支援します。 ・毎日の読み聞かせを通して情緒を育んだり、集中力や想像力が養えるよう支援します。 ・創作活動でいろいろな素材に触れる機会を作り、色・形・重さ・柔らかさなどの感覚を養えるよう支援します。 ・試行錯誤する過程を経験できるように配慮し、自分で気づき自主的に取り組むことが出来るよう支援します。 ・興味関心の幅が広がり見通しを緩やかにしたりイレギュラー一時の対処法を身に付けられるように支援します。 ・様々な場面で自己選択、自己決定ができるプロセスを経験できるように環境設定を行ない支援します。 ・スケジュールに沿った活動を行なうことで時間を意識して行動できるように支援します。									
	言語 コミュニケーション	・ご本人の特性に応じた課題を設定し、読み書き能力の向上を図ります。 ・インテリアルアプローチを基本とし、コミュニケーションの経験を積むことが出来るように支援します。 ・正しい物の名前や言葉使いなどが習得できるような課題を提供します。 ・遊びや様々な活動を通して他者とのやりとりの場面を設け、多くの言葉に触れる機会を作ります。 ・絵カードやサインなどを用いて言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援します。 ・S T Tを取り入れ感情の表出の仕方や相手の気持ちを理解する力が身につくよう支援します。 ・子供どうしで関わる機会を増やしスムーズにやりとりが出来るよう職員が間に入り橋渡しや援助・支援を行ないます。 ・表情や仕草、全身の動きなどから職員がご本人の訴えを読み取り呼応することで、「伝わった」という実感が積み重ねられるよう支援していきます。 ・自分の思いが伝わる経験が増えることで「話したい」「伝えたい」というコミュニケーション意欲が高まるよう支援していきます。									
	人間関係 社会性	・到着時や帰りの際に職員や他の利用児に挨拶する習慣が身に付くよう支援します。 ・遊びや集団活動等を通して様々な人と関わる機会が増えるよう支援します。 ・音楽療法を通し、集団化、一体化、社会性、協調性の向上を図っていきます。 ・創作活動を通して「やり遂げた」という達成感を感じれるよう支援します。 ・集団活動を通して、ルールや順番を守ることが学べるよう支援します。 ・ルールの説明では絵カードや交代カード等を提示してご本人に分かりやすく説明します。 ・職員がお手本を示しながら、他のお子さんともトラブル無くやりとりが出来るように支援します。 ・他者との適正な距離感を把握出来るように適宜声掛けを行い、良好な関係形成を支援します。 ・ご本人ができることでお手伝いをしてもらい、人の役に立てる経験を積み重ねる									